

革新と伝統、そしてダイナミズムを基盤に高い専門性を誇る フランスのアグリフード業界

2008年10月16日：間もなく世界の人口は80億人に達しようとするなか、食料をいかに確保するか。相次ぐ食品価格の高騰にどう対処するか。食料資源の不均等配分という課題をどう克服すべきか---

現在、アグリフード業界はこうしたさまざまな課題に取り組んでいる。この業界には農業機器メーカー、農業関連消費財メーカー(肥料、種子、動物の餌など)、さらには植物性・動物性食品の保管から包装、加工、保存、流通に至る製造加工企業、そして農業副産物や農業廃棄物の活用、加工、リサイクルに取り組む企業などが含まれる。

フランスは当分野において高い専門性を誇る。食品製造の分野におけるフランスの高い専門性は世界各国の食品メーカーにも広く認識されており、その評価も高い。フランスに拠点を置くことは地理的に大きな競争優位につながるほか、フランスの労働力は熟練度や適応力に長けており、高い生産性を誇る。フランスの食品業界の売上は2140億ユーロ。うち1540億ユーロを食品加工業の売上が占める。収益は年率5~7%の成長を維持しており、雇員数も農業従事者が60万人、食品業界の労働力は41万5千人と、国別の食品業界雇用者数においても米国に次ぐ2位である。輸出額は推定451億ユーロ、うち加工食品の輸出額だけでも334億ユーロを占めており、2007年には91億ユーロの黒字を出したフランスのアグリフード業界の貿易黒字に献している。

対仏投資庁長官フィリップ・ファーブルは、「フランスではアグリフードと料理に関しては長く豊かな伝統があることもあって、欧州最大の農業国となっています。また世界の農業にとっても主要な指標を提供し続けています」と述べている。

欧州市場への製造物流拠点をフランスに設けた企業は数多い。ダノン、ラクタリス、Bongrain、LVMH、ペルノ・リカールなどの仏企業は言うに及ばず、ネスレ、ユニリーバ、コココーラ、ハイネケン、General Mills、Hariboなど多くの外国企業が欧州拠点さらにはグローバル展開への足がかりとしてフランスを選んでいる。最近フランスに進出した食品企業には、アイスランドのBakkavörグループ傘下にあるサラダ・生鮮食品を扱うサンキエームセゾン(Cinquième Saison)、発酵醸造の研究開発センターをフランスに設けているダニスコなどが挙げられる。また、種子を扱うサカタのタネ、鳥肉加工食品を扱うMoy Park、シリアルのエibly /Masterfoods、調味料のMcCormickなどが名を連ねている。

フランスのアグリフード業界には、最新技術の提供を積極的に進めようとする土壤があるのも大きな特徴だ。高い技術力を持つエンジニア、研究者、技術者を1万人擁するほか、研究開発予算も4億ユーロを上回る。そして、次に挙げる15拠点的国際規模の産業クラスターが官民の研究機関の交流拠点となっている：

Agrimip Innovation (在トゥールーズ)、**Filière Equine**(在モンドヴィル)、**Industries et Agroressources**(在ラオン)、**Nutrition, Santé, Longévité**(在リール)、**Valorial** (食品イノベーション、在レンヌ)、**Pôle Filière Produits Aquatiques** (在ブローニュ シュルメール)、**Cereals Valley**(在シャップ)、**Innovation Fruits et Légumes**(在アヴィニヨン)、**Vitagora** (調味料、在ディジョン)、**Qualitropic**(在レユニオン)、**Végépolys** (種子・育樹・園芸、在アンジェ)、**Prod'innov** (「製造プロセスおよびニュートラシューティカル」在ポルドー)、**Q@li-mediterrannée** (「持続可能なアグリフードシステムと地中海式の生活の質」、在モンペリエ)、**Innoviandes** (在クレルモンフェラン)、**PASS (Parfums, Arômes, Senteurs, Saveurs)** (在グラス)

対仏投資庁(略称 AFII)

フランスへの国際投資誘致、進出企業向け支援を担当する国の機関。全世界におよぶネットワークで機能し、フランス全土の地方経済開発局との連携により、外国企業にビジネスチャンスを提供、ニーズに応じたサービスを提供している。詳細情報はウェブサイトをご参照ください。<http://www.investinfrance.org/Japan/>

詳細については、以下へお問い合わせ下さい。

在日フランス大使館 対仏投資庁 広報担当 ジェレミ・エルヴェ(Jérémy HERVÉ)

TEL: 03-5733-8208 (直通)

フランス大使館産業技術広報センター TEL : 03-3435-7455